

日本航空が22/3期業績予想を公表—今後の旅客需要や業績回復の動向を注視

以下は、日本航空株式会社（証券コード：9201）が22/3期業績予想を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は11月2日に、22/3期第2四半期決算とともに通期業績予想を発表した。財務・法人所得税前利益（EBIT）1,980億円の赤字（21/3期3,983億円の赤字）、親会社の所有者に帰属する利益1,460億円の赤字（同2,866億円の赤字）となっており、2期連続で大幅な赤字となる見通しである。
- (2) 10月まで緊急事態宣言が断続的に繰り返されたことから、国内線旅客数の回復は鈍い。緊急事態宣言の解除に伴い足元では旅客数増加の兆しが見えつつあるものの、WEB会議の普及などによってビジネス需要の回復が遅れる可能性がある。また、出入国制限が続いているため国際線旅客数は低位にとどまっており、急回復は見込みにくい。業績の本格的な回復にはまだ時間を要すると考えられる。他方、貨物事業が好調であることや固定費の削減によって損益分岐点が引き下げられ、赤字幅は縮小している。また、21/3期の増資に続き、22/3期に劣後債および劣後ローンにより3,500億円の資本性資金（資本性評価：中・50%）を調達したこともあり、財務構成は良好な水準を維持できている。手元流動性が十分に確保されており、資金面で特段の懸念はない。引き続き先行きは楽観できないものの、もう少し状況を確認していただく余力はあると考えている。今後の旅客需要や業績、キャッシュフローの回復の進捗を注視していく。

（担当）千種 裕之・水川 雅義

【参考】

発行体：日本航空株式会社

長期発行体格付：A

見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル